

PL-MD200-MD01

取扱説明書

PL-MD200-MD01 は(株)デジタル製パネルコンピュータ(以下 PL と称します)用ミラーディスクユニットの保守用 HDD ユニットです。2.5 型 2.1G バイトハードディスクを搭載しています。

対応機種： PL-MD200-HU01 PL-MD300-WN01 PL-MDX920-NT40
 PL-MD200-WN01 PL-MD400-WN01

下記の商標名は、弊社の商標・登録商標です。

Proface：(株)デジタル

MS-DOS、Windows：米国マイクロソフト社



警告 安全に関する使用上の注意

- ・ PL への取り付け時は感電の危険性がありますので、PL に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- ・ 本機は改造しないでください。故障、火災、感電の恐れがあります。
- ・ 本機を取り付ける際には、本書の「2.HDD の交換方法」をよく読んで、正しく取り付けてください。

故障しないために

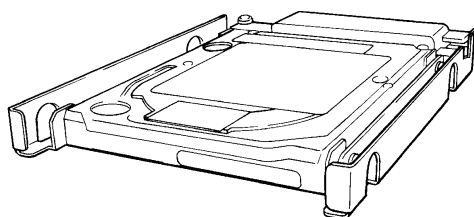
- ・ 本機は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。特に開梱後は倒したり、ぶついたりしないでください。また、操作盤等に、本機を搭載した PL を取り付けた状態での輸送は絶対におやめください。
- ・ 本機を組み込んだシステムの通電中の持ち運びなどは絶対におやめください。

- ・ 本機に水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- ・ 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 腐食性ガスの発生する環境では使用しないでください。HDD本体が破損します。
- ・ ファイル破損を防ぐため、必ずOSを終了してから、コンピュータの電源を切るようにしてください。

梱包内容

梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

保守用 HDD ユニット 1 台
(PL-MD200-MD01)



PL-MD200-MD01
取扱説明書 1 枚 (本書)

PL-MD200-MD01
取扱説明書

HDD No. シール 1 組



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気づきの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

1

ハードウェア仕様

一般仕様

	項目	仕様
物理的環境条件	使用周囲温度	5 ~ 40
	保存周囲温度	-10 ~ +60
	相対湿度	30 ~ 85%RH(結露しないこと)
	周囲雰囲気	じんあい・腐食性ガスの無いこと
電氣的稼働条件	耐ノイズ (ノイズシミュレタによる)	ノイズ電圧：1500Vp-p パルス幅：50ns・500ns・1μs
	耐静電気放電	4kv IEC 61000-4-2
	耐振動	動作時 4.9m/s ²
機械的稼働条件	耐衝撃	輸送時 4900m/s ² (1ms間)
	質量	約170g以下
	外形寸法	W90.0 × H12.5 × D127.9mm

性能仕様

項目	仕様
記憶容量	2.1Gバイト (上記は概算値で使用するOSにより認識する容量は異なります。)
LBA数	4,232,592
シリンダ数	4199
ヘッタ数	16
セクタ数	63
データ転送速度	8.3Mバイト/s
平均シーク時間	14msec Read/16ms Write(typ.)
回転数	4200rpm

- 重要** ・ 上記の仕様はミラーディスクユニットに組み込んだ場合の仕様です。
- ・ HDDには、寿命があります。万一のHDDの故障も考え、定期的なデータのバックアップをお勧めします。
 - ・ 本製品を使用して格納したデータが、HDDの故障や誤動作・その他どのような理由によって破壊された場合でも、(株)デジタルはデータの保障を致しかねます。万一に備えて、重要なデータは光磁気ディスクなど適切なメディアにあらかじめバックアップされますようお願いいたします。
 - ・ HDDは寿命部品です。保守、メンテナンスを計画的に実施していただくようお願いいたします。

2 HDDの交換方法

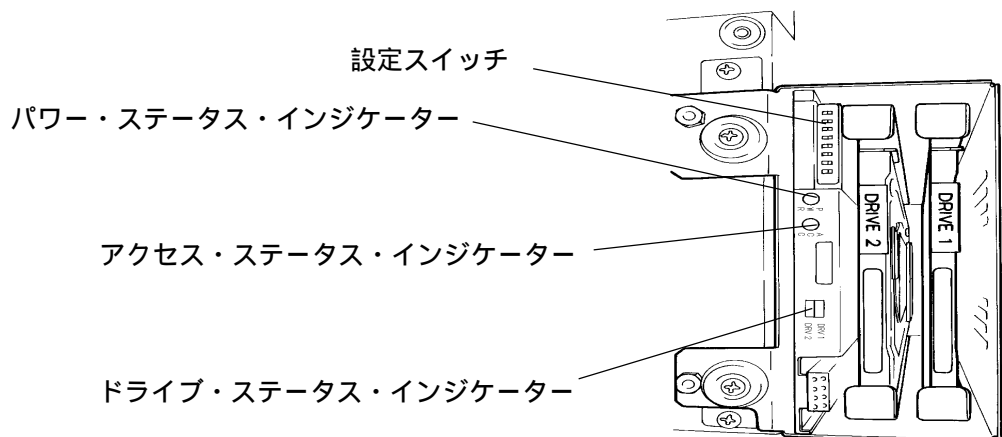
HDDの交換方法を説明します。

HDD故障(1台)の場合

故障したHDDの交換は、システムの稼働中に行う事はできません。また、電源の再投入をしなければ、データのコピーも行いません。よって障害が発生した場合は、できるだけ早くシステムを停止し故障したHDDを交換して電源を再投入してください。データのコピー中(約20分)は、ホストシステムからのアクセスはできません。

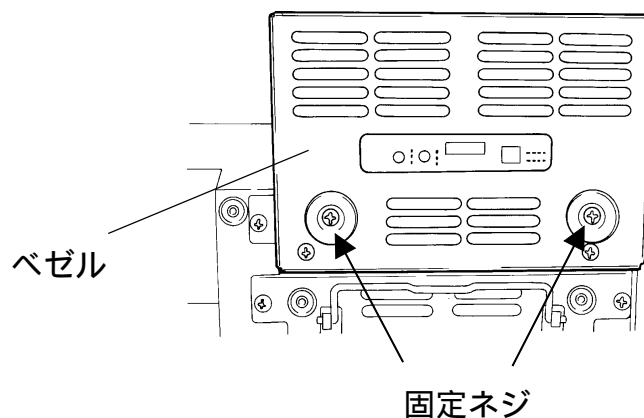
HDD交換とデータ回復の手順

ドライブ・ステータス・インジケータにより、故障したHDDを確認してください。PLのパワーLEDは橙に点滅します。通常、ベゼル(カバー)が前面に取り付けてありますので中身は見えない状態です。



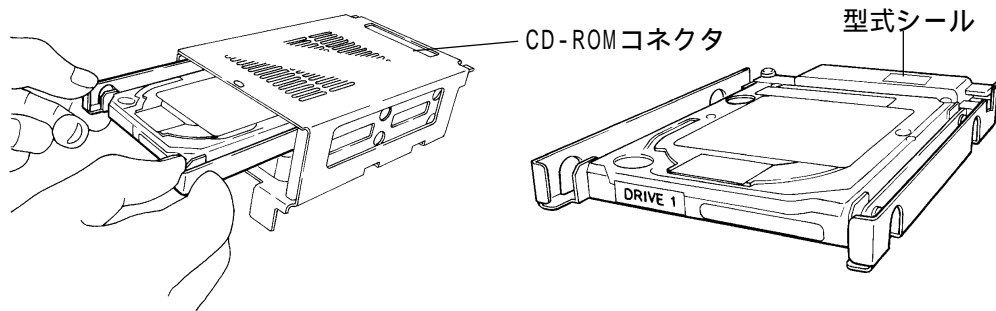
OSが正しく終了されてから、PLの電源を切ります。

電源が切れたことを確認後、ベゼルの固定ネジを取り外してベゼルを取り外します。



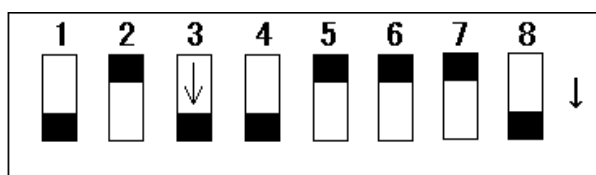
故障したHDDを手前に引き抜きます。

交換用HDDユニットをしっかりと奥まで押し込みます。



重要 ・ ミラーディスクユニットのCD-ROM コネクタ部を上部とした場合、HDDの挿入方向は、型式シールが貼付してある面が上部となります。挿入時は上下の確認を必ず行ってください。

設定スイッチ内にあるリセットモード設定スイッチ(SW3)をONにします。



1	マスタ
2	スレーブ
3	リセット・モード
4	ON 固定
5	OFF 固定
6	OFF 固定
7	OFF 固定
8	ブザー・モード

PLの電源を投入します。

データのコピーが開始され、自動的に新しいHDDにコピーされます。

(コピー時間は約20分です。)

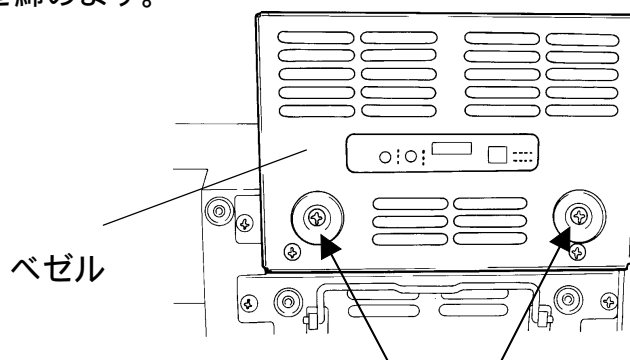
データをコピー中のLED(ドライブ・ステータス・インジケータ)は、コピー元が緑、コピー先が橙に点灯します。

データのコピーが完了したらLED(ドライブ・ステータス・インジケータ)は消灯します。また、ブザー・モードスイッチがONの場合、データコピー完了後、ブザーも鳴ります。PLのパワーLEDは緑に点灯します。

PLの電源を切ります。

リセットモード設定スイッチ(SW3)をOFFに戻します。

ベゼルを閉じて、固定ネジを締めます。



PLの電源を投入し、システムを起動します。

正常動作を確認します。

HDD 故障(2 台)の場合

一度、PLの電源を切って、どちらか1台のHDD(先に故障したと思われるHDD)を抜いて再度電源を入れると残りのHDDにアクセスする事ができます。ただし、この方法はオペレーションシステムが壊れていない場合や他のドライブから起動できる場合に限られ、あくまでも緊急回避策です。データの保証はできません。

HDD を交換しても故障が回復しない場合

PLの電源を切って、もう一度、HDDを取り出し再度しっかりと押し込んでください。その後、電源を再投入しステータスを確認してください。それでも問題が解決されない場合やその他の故障の場合は、お買い求めになった販売店、または(株)デジタル サービス・リペアセンター(0725-53-4154)まで修理を依頼してください。

その他の故障の場合

HDD 交換をしても故障が回復しない場合や、その他の故障の場合は、お買い求めになった販売店、または(株)デジタル サービス・リペアセンター(0725-53-4154)まで修理を依頼してください。

- 重要**
- ・ HDDが故障した場合、該当するドライブ・ステータス・インジケータが赤く点灯します。HDD 交換の場合は、必ずこのインジケータが赤く点灯しているHDDのDRIVE No. (DRIVE1 または DRIVE2)を確認してから行ってください。
 - ・ HDD の障害状況を把握して、故障のあったHDD を交換してください。ただし、2台とも故障した場合はデータの保護もできなくなりますので、1台故障した時点ですみやかに交換していただくようお願いします。
 - ・ 誤って故障していない方のHDDを交換してしまった場合は、交換したHDDのLEDが赤に点滅し、故障していたHDDのLEDは消灯した状態となりデータのコピーを行う事はできません。PLの電源を一度切った後に、故障していないHDDを元のDriveスロットに、新しいHDDをもう一方の空いているDriveスロットに入れて電源を再投入すると、データのコピーを行うことができます。
 - ・ HDD 交換の時に、弊社から提供されるHDD以外のHDDを使用しないでください。使用された場合の動作保証はできません。

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害および免失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

TEL : (06) 6613-1101 (代)

FAX : (06) 6613-5888

URL : <http://www.proface.co.jp/>